

つ

agriculture  
communication  
magazine

ば

no.96  
7月  
2015

さ

JA赤城たちばな

<http://www.jaat.net/>

特集

通常総代会を開催  
第16回



●Contents／目次

- 営農インフォメーション
- 女性のページ
- 農業指導センター情報
- 食のはなし
- お知らせコーナー
- 読者のコーナー

津久田小と南雲小の5年生が田植えを体験。  
元気いっぱいの明るい声が田に響きました。  
(詳細は16ページに掲載)

# 第16回通常総代会を開催

J A赤城たちばなの第16回通常総代会が5月23日、北橘公民館で開かれ、役員選任など上程された全8議案は原案どおり可決されました

この日開かれた総代会には、各地区から選ばれた総代が42人出席（うち本人出席234人、書面出席188人、代理出席4人）、午前9時30分に開会しました。

角田代表理事組合長はあいさつで「平成26年度は豪雪によりパイプハウスや農業用施設等に大きな被害が報告されました。現在では80%が再建されていますが、早期の全面復旧・復興を念願するところです。一方、当JAは合併15周年を迎、念願の北橘支所新店舗を11月25日にオーブンしました。地域に根差した金融共済店舗として期待に応えられるよう努力しております。さらに合併記念旅行には10名の方に参加いただき盛大に実施することができました。事業実績では事業総利益、経常

利益、当期剰余金ともに計画を上回ることができました。これはひとえに組合員や利用者皆さまのご協力によるものです。平成27年度はTPP問題や政府の農協改革など不透明感が漂い、厳しい経営環境が続くと思われますが、法令等を遵守し、更なる経営の健全化、透明性の確保に向け、役職員一丸となり積極的な事業展開を実施します。組合員の皆さんにはなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます」と述べました。

会議の実現とJAグループの自己改革に関する特別決議を須田副組合長が読み上げ、出席者の賛同を得ました。

議長には、赤城町上三原田の都丸政行さんが就任し、スマーズな進行のもと、平成26年度の事業報告や平成27年度の事業計画など、上程された8議案と附帯決議が審議され、全て原案通り可決されました。

最後に「TPP交渉における国



支所ごとに受付をする総代

組合長のあいさつ



議長を務めた都丸政行さん

## — 議 案 —

### 報告事項

田子代表監事による  
監査報告

平成26年度貸借対照表、損益計算書、注記表の内容及び附属明細書並びに全国監査機構の監査報告及び監事の監査報告の件

### 第1号議案

平成26年度事業報告及び剰余金処分案承認の件

### 第2号議案

平成27年度事業計画設定の件

### 第3号議案

平成27年度賦課金の額並びに賦課徴収の時期及び方法決定の件

### 第4号議案

平成27年度における理事及び監事の報酬に関する件

### 第5号議案

定款変更の件

### 第6号議案

信用事業規程変更の件

### 第7号議案

平成27年度中に国等の施設に基づき支払われる補助金等の申請、受領及び返還に関する委任の件

### 第8号議案

役員選任の件

役員選任のため設けられた投票所

## — 優良組合員表彰 —

優良組合員表彰基準に基づき、地域農業の発展のため積極的な生産活動に取り組んでいる次の2人の方が表彰されました。

橋 繁治さん(北橘町上南室)

齋藤健一さん(赤城町北上野)

全議案が可決された第16回通常総代会



表彰を受ける齋藤健一さん

## 役員の あいさつ



代表理事組合長  
角田俊壽

組合員の皆さまにおかれましては、JA事業全般にわたり平素より格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年におきましては、2月14～15日に発生した観測史上最大規模の豪雪は、管内にも大きな被害をもたらしました。被災農業者・JA・行政が三位一体となり農業用施設等の復興に取り組み、現在約8割の再建となりました。今後も引き続き全面復興に向けて努力する所存であります。

そのような中、昨年度、当JAは合併15周年の年を迎え、記念事業並びにイベント等を開催しましたところ、組合員皆さまの積極的なご協力・ご参加をいただき、心より感謝申し上げます。

本年度、農業・JAを取り巻く情勢は、環太平洋連携協定（TPP）の交渉の行方やJA改革関連法案の国審議等一段と厳しさを増しますが、組合員や地域住民の方々に信頼され、必要とされるJAを目指し、役職員一丸となつてまい進する所存でございますので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

## 退任のあいさつ



代表理事副組合長  
萩原一夫

平素より農業振興にご尽力いただき、貴重な勉強になりました。組合員の皆さまで格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの第16回通常総代会並びにその後の理事会において代表理事副組合長に選任され就任することとなりました。

TPP問題をはじめ農協改革など、農業・農村そしてJAを取り巻く情勢が大きな転換期にある中、その任務と責任の重さを痛感しています。

今後のJA情勢は、経済動向や異常気象、情報化社会の進展、TPPや農協改革等によりますます大きく変化し、JAの業務も重要性を増すことと思います。この機会を逃さず注意深く見守るとともに、ぜひ大胆に行動に移していただきたいと思います。

組合員の皆さまのご繁栄とご健勝、JA赤城たちばなますますのご発展を心から祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

須田有一

このたび、代表理事副組合長を退任するにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

平成24年5月の就任以来3年間にわたり、JA事業全体の仕事に関わらせていただきました。この間、東日本大震災の放射能汚染問題や豪雪災害の復旧復興のお手伝いをさせていただき、貴重な勉強になりました。組合員の皆さま方のご協力により財務内容もまずまづの成績で終了でき、深く感謝申し上げます。

このたびの第16回通常総代会並びにその後の理事会において代表理事副組合長に選任され就任することとなりました。

TPP問題をはじめ農協改革など、農業・農村そしてJAを取り巻く情勢が大きな転換期にある中、その任務と責任の重さを痛感しています。

経営理念や経営方針を念頭に、地域農業の活性化と地域社会への貢献に努め、組合員の生活を守り、地域の皆さまに信頼され親しまれるJAづくりに取り組む所存であります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



# J A赤城たちばな 新役員

## 新参与が着任

新参与に鳥山薰さん(見立)と角田佐知子さん(勝保沢)が着任しました。前参与の任期満了に伴い、JA女性部から推薦され、角田組合長から委嘱されたものであります。

参与は理事会に出席し、必要な意見を述べることができます。女性部や青年部など、地域の担い手の意見を直接JA運営に取り入れることで、組織の活性化を図ろうと設置されている役職です。任期は平成30年の通常総代会まで。2人は6月1日の理事会に出席し、その任務に就きました。



鳥山さん(左)と角田さん(右)

# 宮農赤城たちばなインフォメーション



会議に集まつた生産者ら

## ブルーベリー目ぞろえ会 鑑賞用の出荷始まる

赤城ブルーベリー組合は5月26日、しきしま支所で枝物ブルーベリー出荷会議と目ぞろえ会を開きました。生産者ら16人が参加し、規格統一と出荷方法を申し合わせました。

枝物ブルーベリーは食用のブルーベリーの枝を鑑賞用として出荷するもの。緑色の葉と実が初夏を彩る生け花の花材として重宝されます。今年は5月20日

から出荷が始まりました。

(株)大田花きの川名正弘さんが切り花の市場情勢を報告。食用のブルーベリーはほぼ全国で出荷され、枝物も他の地域の出荷量は年々増えているそうです。

川名さんは「この地区は県内最大の産地であり、その品質は消費者に認められている。このブランド力を活かし、引き続き自信を持つて出荷してほしい」と話しました。

4月中旬以降、高温と降水量不足のため多少実は小振りですが、同組合は平年並みの2400箱(1箱30本×50%の場合)の出荷を見込みます。出荷は7月下旬まででピークは6月です。



主に東京方面に出荷されるブルーベリー

## 雨除けホウレンソウ 目ぞろえ会で規格統一

赤城橘雨除けほうれん草組合は4月30日、北橘営農生活センターで目ぞろえ会並びに栽培講習会を開きました。生産者や種苗会社、JA全農ぐんまやJA職員ら約40人が参加し、出荷規格の確認や春から夏まきのホウレンソウ栽培を学びました。

目ぞろえ会ではJAの担当者

が、出荷規格や荷造りの注意点を説明。黄変やとろけを防ぐための適正な調製を呼び掛けました。

種苗会社の担当者らは品種ごとの特性を紹介。(1)播種(は

しゅ)時期に合った種の選択(2)発芽不良を防ぐための高温対策(3)適度なかん水ーをアドバイスしました。「良い物を作るには、良い種を使うだけでなく手をかけること。何より土づくりが大

真剣に説明を受ける参加者



品質統一に励む生産者

同組合の会員は65人。昨年の雪害で8割のパイプハウスが倒壊しました。現在はその7、8割が再建。夏までには全てを再建し、通常の出荷を目指します。

## 児童が育苗センター見学 水稻苗を興味深く観察

北橘水稻育苗センターは5月13日、橘北小学校の5年生46人の見学を受け入れました。

J Aの担当職員は、播種（はじめ）から硬化苗として農家へ引き渡すまでの育成管理について説明。「春は農作業が忙しい時期。忙しい農家に代わって、すぐには田植えができる苗を育てている」とセンターの役割を話しました。

児童は播種プラントや出芽室を見学。出芽に適した温度と湿度に保たれた出芽室内を体感しました。パイプハウスや育苗ブルールでは育成中の苗を興味深く観察。児童から「育てているお米の種類は」「パイプハウスの数は」などの質問が上がりました。

初めて手に取る苗に興味津々

同センターが育てる品種は、「ひとめぼれ」「コシヒカリ」「群馬糯5号」の3種類。育苗箱で約2万7000枚分を育てます。児童は、6月3日に同センターが育てた苗で田植えを行いました。



説明をよく聞き、メモを取る児童たち

## パプリカの現地研修会 天敵で害虫防除も

J A赤城たちばなパプリカ組合は5月11日、パプリカ現地研修会を開きました。生産者やJA、県の関係者17人が赤城地区と北橘地区に分かれそれぞれの畑を巡回。4月下旬に定植した苗の状況を確認しました。

チエックポイントは苗の活着状況や整枝の具合、病害虫防除やかん水の状況など。巡回の結果、どの畑も概ね順調です。

今後の栽培管理を再点検



熱心に生育状況を確認する生産者ら

J A赤城たちばな

県渋川地区農業指導センターの村永順一郎さんは、①湿度を保つための適度なかん水②気温に応じたパイプハウスの開閉③病害虫防除のための除草や防虫ネットの使用など今後の栽培管理を指導しました。

村永さんは、農葉を減らし労力を軽減する害虫防除として、アザミウマやハダニを捕食する天敵のカブリダニ類についても説明。放飼するスケジュールや、有効に利用するための注意点を解説しました。

同組合が栽培するのは通常より小型の品種「ビバ・パプリコット」。生産者20戸が約70ルアードを栽培します。出荷は7月上旬から始まります。

# woman voice 女性のページ

## 会員募集中!

一緒に活動しませんか

各組織では会員を募集しています。会員同士で楽しく交流しながら地域貢献しませんか。各組織ともさまざまな活動をしています。女性パワーで一緒に地域を盛り上げましょう。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

ごみ拾いで地域に貢献

キムチ作りを学んだ  
料理教室

☎ 52-2104



交流を深める視察研修

問い合わせ先  
経済福祉課 佐藤

☎ 52-2104

高齢者福祉としてミニデイサービスを開催。週2回ほど各地区の集会場で、ゲームや工作などの催しを楽しんでもらいます。その他には、マレットゴルフや手芸教室などで会員同士の懇親を図ります。

問い合わせ先  
経済福祉課 佐藤

平成27年7月/no.96



親睦を図るハイキング

## AKAGIグリーン アメニティ



### 会員資格

赤城町にお住まいで、農業の担い手である68歳以下の女性

27年度の主な活動計画  
7月 ちびっ子農業体験  
9月 視察研修会  
10月 赤城ふれあいまつり

12月 漬物講習会  
2月 手芸講習会

問い合わせ先  
JA女性部

ふれあいの店しきしま店  
狩野

☎ 560-2325



J.A.赤城たちばな

手軽な体操で血行促進  
(ミニデイサービス)



## J.A.ひまわり会

### 会員資格

管内にお住まいの方  
(男性も大歓迎)

### 主な活動

バスを開催。週2回ほど各地区の集会場で、ゲームや工作などの催しを楽しんでもらいます。

その他には、マレットゴルフや手芸教室などで会員同士の懇親を図ります。

問い合わせ先  
経済福祉課 佐藤

■ 8 ■

## ミニディサービス 遊びに来ませんか!

とき	地区名
7月21日	赤城町三原田
7月24日	北橘町上南室
7月28日	赤城町南雲第二
7月30日	北橘町下小室
8月 4日	赤城町南雲第三
8月 6日	北橘町分郷八崎
8月11日	赤城町樽
8月18日	北橘町八崎第三
8月20日	赤城町宮田
8月25日	北橘町八崎第二
8月28日	赤城町深山
9月 1日	北橘町八崎舟戸
9月 3日	赤城町栄
9月 8日	赤城町棚下
9月10日	赤城町三原田団地
9月15日	北橘町真壁上
9月17日	赤城町持柏木

午前10時より

各地区集会場で開かれます



ひまわり会は5月25日、敷島緑地公園マレットゴルフ場でマレットゴルフを楽しみました。参加した会員ら8人のほとんどが初心者。渋川市体育協会のマ

指導者の的確なアドバイス

## ひまわり会 マレットゴルフを体験

レット・ゴルフ部の狩野忠史部長(津久田)ら5人から指導を受け、プレーを楽しみました。

4チームに分かれ、ス

ティックの振り方やルールを教わりながら競技開始。

コースの特徴や芝生の目を読みボールを打つ指導者

らの腕前に、会員らは感心しきりでした。

天候にも恵まれ、程よ

く汗をかいた会員らは、

「いつでも気軽にできると知ったので、またプレーしたい」、「頭を使うスポーツ。奥が深い」とマレットゴルフの魅力を笑顔で話していました。



仲間とのプレーを楽しむ会員

自然の中での運動は気分爽快



山梨の人気スポットを巡る日帰りバス旅行の参加者を募集しています。  
お友達をお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

## 参加者大募集! まるごと山梨の旅

- 実施日 平成27年9月14日(月)
- 行程 ぶどう食べ放題
- 信玄餅詰め放題
- 医療機器ジュエリー見学
- ※昼食は山梨の郷土料理「ほうとう」をお楽しみいただきます。
- 参加資格 管内にお住まいの女性
- 参加代金 おひとり様2500円(25人以上参加の場合)
- 申込期限 平成27年8月28日(金)
- 主催者 JA女性部
- 申込み・問い合わせ先 経済福祉課 佐藤
- ☎ 521-2104

# 農業指導センターニュース

## 情報

### コギク栽培で問題となる害虫対策

て3～4週間ごとに発生のピークがあるので、発生を予測して農薬散布することも大切です。

#### 2. アザミウマ類

アザミウマ類は新芽や花芽にもぐり、吸汁します。新芽の場合、葉が展開すると奇形になります。引きつれを起こします。花の場合は被害部がカスリ状の色抜けが起ります。また、ウイルス病を媒介することもあります。

#### 3. ハダニ類

コギクは8月のお盆、9月の彼岸の出荷に向けた露地栽培を基本としています。今年は5月が雨が少なく、気温が高い天候が続きましたので、例年以上に害虫の発生が多くなっています。今後販売に向けて防除が大切な時期になりますので、主な害虫とその対策を紹介します。

1. オオタバコガ

幼虫が新芽や花を食害します。6月から10月にかけて発生し、高温乾燥で多発します。特に空梅雨や梅雨明けが早い年は被害が大きくなることがあります。

幼虫が大きくなると農薬の効果が低くなるので、発生初期の適期防除が最も大切です。そし



写真1  
葉裏に寄生したアワダチソウグンバイ

#### 5. カスミカメムシ類

成虫は体長約5ミリで体色は淡緑色です。成虫、幼虫ともに新芽、茎、蕾などを吸汁加害します。新芽が加害されると、葉が展開した際に吸汁痕が退緑斑となったり、小さい穴が開いたりします。症状が激しい場合は、葉が不規則に破れて奇形になったり、萎縮します。また、蕾が加害されると花が不整形になります。



写真2  
カスミカメムシによる葉の穴あき症状

#### 4. アワダチソウグンバイ

成虫は体長約3ミリで、葉裏に多く寄生して吸汁加害します。ハダニによる加害と似たかすり状の白斑を生じますが、ハダニとは異なり、葉裏に排泄物が黒点状に付着して汚れます。

コギク栽培に興味のある方は、気軽に農業事務所や農協に問い合わせて下さい。

コギクは露地栽培が可能で導入経費も少なくて済むなど、定期帰農者や女性でも導入しやすい品目です。群馬県としてもオリジナル品種「小夏の風(白色)」と「小夏の月(黄色)」を育成してきましたが、今年の春には「小夏の星(黄色)」も新たに登録され、重点推進品目として生産拡大を図っています。

発達しやすいので、ローテーション散布を行つて下さい。また、害虫によって植物に寄生する部位が異なるので防除対象となる害虫の寄生部位を見極め、散布ムラのないように丁寧に行って下さい。

同時に場内及び周辺の雑草

防除、収穫適期を過ぎた花は早

期に刈り取るなど、害虫の寄生

する場所を減らすことも大切です。

なお、農薬については必ずラ

ベルの内容を確認し、使用基準

に従い使用してください。

今回紹介した害虫は、高温乾燥条件で被害が拡大しやすいの

で、天候に応じて散布薬剤や散

布間隔を調整して下さい。

これらの害虫は薬剤抵抗性があり、農業事務所や農協に問い合わせて下さい。

(中部農業事務所 普及指導課  
園芸指導係 佐藤恭永)

# 食の はなし

ベターホームのお料理教室

## トマト

赤やオレンジなど色鮮やかでかわいらしい形のトマト。はるか昔は毒があると考えられていて、観賞用として栽培されていました。食用となつた今ではお料理の彩りとして欠かせない存在です。

このトマトの赤色は主にリコピンという物質です。リコピンは強い抗酸化作用があり、生活習慣病やがんの予防に効果があるといわれ、注目されています。リコピンは比較的熱に強く、生で食べるよりソースや炒め物など油を使って加熱調理をした方が、より効率的にトマトの抗酸化機能を利くことができる」と分かっています。

日本ではサラダなど生で食べる」ことが主流のトマトですが、海外ではトマトソースなど、料理のベースとなる調味料としてよく使われています。実はトマトにはグルタミン酸といううま味成分が多く含まれています。うま味とは、日本では甘味、酸味、塩味、苦味、と並んで基本の味の一つです。うま味成分として代表的な物に昆布に含まれるグルタミン酸

酸、かつお節に含まれるイノシン酸、シイタケに含まれるグアニル酸があり、日本食の生命線のだしはこのうま味を生かしたものですね。

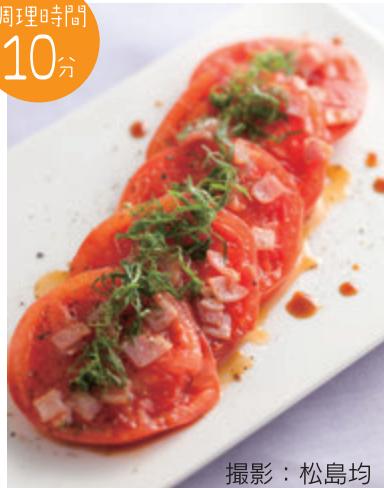
みそやしょうゆにもグルタミン酸が含まれています。日本の一般的な合わせだしは、昆布のうま味成分のグルタミン酸とかつお節のイノシン酸を合わせています。この二つは合わせることでうま味が数倍も強くなるとされており、これをうま味の相乗効果といいます。同じように、イノシン酸を多く含む魚やお肉類を、グルタミン酸を多く含むトマトで煮込むとおいしいのは、うま味の相乗効果が起きているからなのです。

トマトはこのうま味で、日本食のだしのように味のベスとなり、みそやしょうゆのように調味料にもなっています。私たちもだしやしょうゆを使うようにトマトソースも日々の調理に活用すれば、体にもうれしいことです。旬の今こそたくさんトマトでトマトソースを作り置きしてみるのもよいかかもしれません。

## トマトンテー

Recipe

調理時間  
10分



撮影：松島均

■材料(2人分)

トマト	中2個(400g)
しその葉	4枚
ベーコン	1枚
オリーブ油	小さじ1
しょうゆ	小さじ1
黒こしょう	少々

■作り方(1人分99kcal)

- (1)トマトはへたを取り、1cm厚さの輪切りにします。しそは千切りにします。
- (2)ベーコンは1cm角に切ります。フライパンに油とベーコンを入れ、中火でベーコンがカリカリになるまで炒め、取り出します。
- (3)(2)のフライパンにトマトを入れ、強火で両面を20~30秒ずつ焼きます。
- (4)トマトを皿に盛り、しょうゆ、こしょうを掛け、ベーコンとしそを散らします。

# お知らせ

役立つ  
情報満載!

コ-ナ-

## ちびっ子農業体験

### 参加者募集

AKAGIグリーンアメニティが今年も「ちびっ子農業体験」を行います。

野菜の収穫体験はもちろん、バターやきな粉飴作りなど、ワクワクするイベントが盛りだくさん。アメニティ部員手作りの昼食もご用意します。一緒に楽しい時間をお過ごしましょう。

実施日  
平成27年7月23日(木)

集合場所  
赤城営農経済センター  
(赤城町津久田1930-1)

対象者  
管内の小学生

申込期限  
500円(当日集金します)

参加費  
1000円

申込期限  
平成27年7月10日(金)

申込み・問い合わせ先  
ふれあいの店しきしま店 狩野

☎ 56-2325

農産園芸課 狩野

☎ 52-2116

## 就農支援講座 受講生募集

定年退職者や帰農者など、就農希望者の皆さんのが農業を応援するとともに、組合員の農業知識や経営の向上を目的に就農支援講座を開講します。

受講を希望する方は、お気軽にお問い合わせください。

実施日  
平成27年8月26日(水)  
11月26日(木)

集合場所  
(計6回 現地実習含む)

実施日  
JA本所および

集合場所  
北橘営農生活センター

対象者  
就農希望者  
(組合員外の参加も歓迎)

募集定員  
先着15人程度

申込期限  
500円(当日集金します)

参加費  
1000円

申込期限  
平成27年7月31日(金)

申込み・問い合わせ先  
JAあんしんセンター  
☎ 0120-182-571

## マイコンメータSの復帰方法

クミアイ  
ガス通信

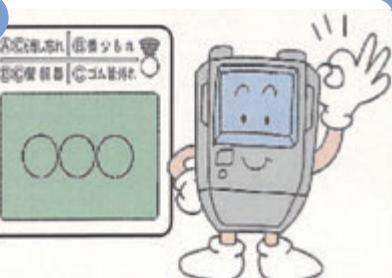
1 すべてのガス栓を閉めてから下図の「復帰ボタン」を1~2秒押してください



2 1~2分間お待ちください  
(チェック中にガスを使用すると再遮断します)



3



ガス漏れが無いことを確認すると点滅が消え、LPガスが使えます  
(ガス漏れがあった場合は再び遮断します)

マイコンメータSは長時間の使用や普段使わない大量使用など異常を検知すると、安全のため自動的にLPガスを遮断します。この場合、安全の確認をした上で、お客様がメータ遮断を復帰することができます。※①~③を行っても復帰しない場合は、下記までご連絡ください。

平日・昼間 経済福祉課

☎ 0279-52-2104

休日・夜間 JAあんしんセンター

☎ 0120-182-571

# 休日・夜間 緊急連絡先

●通帳、キャッシュカードの盗難、紛失  
JAバンク事故受付センター  
**TEL.027-220-2106**

●交通事故 (=自動車共済の事故受付)  
交通事故夜間・休日事故受付センター  
**0120-258931**

●ガス切れ・故障  
LPガス緊急連絡先 TEL.0120-182-571

- 葬祭に関する連絡先  
ふれあいの店北橘店 TEL.0279-52-2104
- ふれあいの店横野店 TEL.0279-56-2023
- ふれあいの店しきしま店 TEL.0279-56-2325



5月末のJA報告	
組合員総数	3,736人
(内正組合員	2,258人)
出資金総額	5億 8,079万円
事業実績	
貯金総額	313億 1,514万円
貸出金総額	41億 7,388万円
長期共済保有額	1,334億 5,350万円
農畜産物販売総額	10億 3,128万円
購買品供給総額	5億 6,298万円
自己資本比率	19.67% (平成27年2月末現在)

**安心と信頼を  
モットーに  
真心をこめて  
お手伝いします。**

# J A 葬祭事業の お知らせ

■指定店  
・ギフトショップイノ・須田葬祭  
・さいとう典礼  
24時間受付対応電話番号  
**TEL 0279-52-2  
0279-56-2  
0279-56-2**

協議事項

第1号議案  
平成27年度仮決算方針決定の件

第2号議案  
平成26年度業務報告書提出の件

第3号議案  
理事の小委員会の委員配置の件

第4号議案  
組合員出資減口の件

第5号議案  
平成27年度における理事の報酬配分決定の件

## 理事会だより(6月1日)

会長	萩原偉三男
副会長	萩原勝吉
監事	町田一
顧問	森田幸裕
楯繁治	
赤城生産者協議会	
会長	三富一夫
副会长	齋藤和利
副会长	角田悦寿
副会长	大畠善市
会計	田子明彦
监事	須田保夫
监事	角田徳重

北橘生産者協議会と赤城生産者協議会はそれぞれ、平成27年度の役員体制を決めました。役員の任期は2年。両協議会は管内農業の経営改善や地域の活性化、生産技術の向上を目的にそれぞれ活動しています。

## 北橋と赤城の生産協 新役員を選出

# 読者

## 俳句

吉岡好江選

父母なくて遠き故里桐の花  
老鶯の縄張りと云ふ谷渡り  
吉田 春江

生と死はいつも身近に夏来る  
下田よしい  
石田袈裟男

松の芯つんつん伸びて山日和  
森田なみを

ここち良き水の流れも夏の音  
石田 トミ

梅雨寒や湯花の香る風呂に入る  
齋藤 梢保

評 梅雨の頃は急に冷え込むことがあります。そんなとき湯花の香る風呂に入り、心身共にくつろぎ英気を養われたこと、思います。

洗車して母を迎へに聖五月

佐藤 満子

評 日々の生活のひとこまを詠い作者の心情が表白されました。季語の聖五月はカトリックでこの月を聖母マリアの月としていることから使われます。

待ちに待つた一夜限りの仙人掌よ  
諸田みね子

評 ことしも又丹精の仙人掌がいよいよ開花の時となる。一夜かぎりとはなんと夢い花でしょう。花に寄せる作者の思いは深いのです。

美容師と会話ちぐはぐ目借時

角田美枝子

衣更へて澆刺として蜜しづり

角田タケ子

笊変わり青さの変わる実梅かな

石田千之輔

薔薇園の力タカナ名前に四苦ハ苦

星野 幸子

薰風や住み心地よき山の裾

諸田 広子

風倒木芽吹きはじまる山の中

兵藤 徳香

石菖の群落水の響き合ふ

蕎麦処へ夫と連れ立つ万緑裡

岩崎 恵子

大夕焼ふるさとの空染めあげる

大谷利津子

# あなたの俳句 お待ちしております。

[投句の記載事項]

俳句(漢字にはフリガナをつけ、楷書で記入)  
郵便番号／住所／氏名(俳号併記)／年齢／電話番号

[投句方法]

- ・最寄りの支所窓口へ
- ・FAX:(0279)56-4152
- ・e-mail:tsubasa@jaat.jagunma.net
- ・郵送:〒379-1124 渋川市赤城町滝沢64-2

[投句先]

JJA赤城たちばな 企画管理課

[締め切り]

平成27年8月5日

みなさん、  
ご応募  
ください。

コトナリ



## 自社説明会を開催 若手職員がメッセージ



先輩からの  
貴重なメッセージ

5月28日に本所で、平成28年度の就職希望者を対象に自社説明会を開きました。参加者12人は、JAの概要や経営状況などの説明を受けた後、施設を見学。昼食は特産品「赤城ポーク」を使つた料理を味わいました。

先輩職員からのメッセージとして、農産園芸課の京谷さんと金融課の室田さんが発表。就職6年目の京谷さんは「勤続年数が増えるにつれ責任ある仕事を任されるようになつた。知識は就職してから十分得られる。まずは元気であることが大事」、就職3年目の室田さんは「コミュニケーションが大切。上司や同僚との報告・連絡・相談を心掛けている」とJA職員としての心構えや職場の雰囲気を伝えました。



田植えを終えた元気いっぱいの子どもたち



田植えを指導する  
角田さん

最初、恐る恐る田んぼに入つた子どもたちは、足を取られて動きにくそう。慣れない泥の感触に、あちこちから歎声が上りました。

角田さんから植え方を教わった子どもたちは、田に張られたひもを目印に、苗3〜4本ずつを丁寧に植えました。だんだん慣れてくると植えるスピードもアップ。「水が気持ちよく、田植えは楽しい」「昔の人の大変さが分かった」と笑顔で話していました。

植えた稲は、秋に稲刈りを体験する予定です。

田植えを指導する  
角田さん

初彼岸姑の教え膳に盛る  
遠藤峯子さん(長井小川田)

春蚕飼う姥の仮寝の腕枕  
岩崎昌子さん(三原田)

## 児童が田植え体験 笑顔はじける米学習

おめでとうございます。  
入賞

第18回群馬県JA年金友の会  
短歌・俳句大会

●短歌の部  
〈入選〉

目薬りを一滴さして床につく  
慣れし仕草も術後の五年  
嶋村つるさん(分郷八崎)

早起きは損か得かはさまざま  
スプレー持参の野良仕事かな

狩野とみさん(津久田)

子持嶺に雲ひとつなくコンニャクの

収穫機走りその粒揃ふ  
池田いねさん(津久田)

●俳句の部  
〈佳作〉

春蚕飼う姥の仮寝の腕枕

岩崎昌子さん(三原田)